

労福協第9回（通算42回）通常総会を開催

2021年6月11日午後2時から高知市市民活動サポートセンター大会議室で、10の会員団体から7名の代議員と6名の理事・監事が出席し、第9回通常総会が開催されました。

コロナ禍の中での開催のため、総会成立要件がクリアできる最小限度の参加とし、例年来賓で出席いただく高知県知事・高知市長からメッセージをいただきました。

総会は勝賀瀬事務局長の司会で、総会が定款に基づき成立しているとの報告があり、議長の選任に入り牧村光彰代議員（高知県労働安全衛生センター）を選出しました。

会長の開会挨拶後、議案審議に入り、第1号議案は、2020年度収支決算報告を勝賀瀬事務局長より、会計監査報告を中野監事より提案し、第2号議案は、役員の一部改選について、石川俊二理事・宇都宮孝志理事より辞任届が提出されました。また、高知勤労者福祉サービスセンターから事務局長の西澤和修氏の立候補届が提出されたことで、役員を選任・解任を提案し、第3号議案は、定款で規定されている会費の金額を提案し、満場一致で承認されました。

続いて報告事項では、2020年度活動報告、2021年度活動計画、2021年度収支予算について勝賀瀬事務局長より報告があり、満場一致で承認されました。

最後に牧村議長より大会スローガンが読み上げられ満場の拍手で採択し、総会は午後3時に全議案の審議が終了し閉会しました。



労働者協同組合法設立記念集会 in こうち

6月15日（火）に高知市のちより街テラスの「ちよテラホール」で労働者協同組合法設立記念集会が開催されました。この労働者協同組合法は、昨年12月4日に国会で全党・全会派一致で成立し、「働く人が出資して組合員となり、それぞれの意見を反映し、出資者自らが従事する組織」が協同組合法人として認められることとなったものです。

成立時、神津里季生中央労福協会長も「元中央労福協会長の笹森清さんが長年にわたり尽力したことが実を結んだこともあり、新たな働き方の選択肢が増えるとともに地域の活性化に繋がることが期待され、協同組合運動と労働組合運動、市民運動、消費者運動などをつなぐコーディネーターとしての役割担うことが理念である労福協との連携をさらに強め、仕事おこし、地域づくりの促進に取り組んでいきたい。」と談話を寄せています。

らるむらのびひろ

記念集会は、日本労働者協同組合連合会理事長 古村伸宏氏による「協同労働というのはたらき方一人と地域を活かしあう協同組合の誕生」の基調講演や、広島市協同労働の実践報告や、高知県内での協同労働組織の紹介等があり、オンライン会議（ZOOM）も含めて100人超の参加がありました。



『こうち食支援ネット』設立総会開催

2021年5月22日(土) 高知市の三翠園にて「こうち食支援ネット」設立総会が開催されました。役員をはじめ出席者27名のもと肅々と執り行われました。食支援事業にご賛同いただきました会員の皆様には心よりお礼申し上げます。



理事長あいさつ



理事長
折田 晃一

私たちがめざしたいことは、「食支援団体の連携強化と、食支援の輪の拡大と食支援の充実」であります。

現在、食支援に携わっている支援団体間の連携の強化はもとより、食材提供の側の皆さんと食材を活用して支援を行う皆さんとの連携も深めながら、より多くの県民、団体の皆さんに会員やサポーターとしてこの活動に参加いただくことによって、生活に困窮した方々などへの食支援の輪を広げてまいりたいと考えているところです。そのうえで、「食材を集める仕組み」「食材の分配機能」「食材を

配布する仕組み」それぞれの強化をめざしていきたくと思います。「集める仕組み」では、新たに食材等を提供いただける団体・個人を掘り起こし、食材提供の拡大につなげていきたいと考えますし、「食材の分配機能」としては、提供を受けた食材の在庫情報等を、県内の子ども食堂等支援活動を行っている団体に提供する「食材情報提供システム」を運用していきます。そして、「食材を配布する仕組み」では、生活困窮者を対象に食材の配布を行う場であるフードパントリーを県内各地につくり、将来的には「支援を必要とする方」を把握することが可能となる地域の拠点にできればと願っているところです。夢は大きく広がるわけではありますが、実際には一步一步着実に進めていくことが大切であると思っております。今後の「こうち食支援ネット」に対しますご支援を心からお願い申し上げます。

『うしおえ子ども食堂』にお邪魔しました。

6月6日(日)「うしおえ子ども食堂」が開催されるということで、こうち食支援ネット(以下食ネット)も取材してきました!

今日は、お天気も良く晴れ晴れとしたお日様のもと、会場入りは私たちが一番かなあと思ったやさき、入り口付近で小学生3人と遭遇。「こんにちは!(小学生)」「こんにちは。(食ネット)」元気な挨拶が飛び交います。『いつも来ゆうの?お弁当美味しい?』『うん、来ゆう。美味しいよ!』小学生3人は、会場のお庭にセットされたテーブル席で、仲良くお弁当を食べていました。うしおえ子ども食堂スタッフの神崎さんが、「この子たちはいつも来てくれるの。今日はお弁当だけど、この子たちのお母さんから連絡あって、会場で食べさせてくださいって連絡があったから、今日は庭にセッティング。」と。美味しそうに食べている3人のそばで、お弁当を取りに来られた方に「〇〇さん5食分ね。はい、どーぞ。」軽快な動きでお弁当を配っていました。

今日のお弁当の準備は50食分。スタッフの中には、高校生ボランティア5名と初めてボランティア活動をされる方を含

め、総勢12名が調理やお弁当の盛り付けに手際よく準備されていきました。その中で、高校生ボランティアの皆さんに尋ねてみました。『ボランティア活動に参加しようと思った理由は? (食ネット)』『以前から子ども食堂を知っていて、興味があったので参加しました。』『ボランティア活動については、どこで知りましたか? (食ネット)』『ネット検索したら、子ども食堂のボランティアが載ってて。』とのこと。高知県ボランティア・NPOセンターが運営している、こうちボランティア・NPO情報システム“ピピネット”を検索し参加されたそうです。

子ども食堂とは、地域コミュニティや子ども達を見守る場所、また、お母さんやお父さんが家事をしなくてもいいホッとした時間をもてるお助けマンみたいな存在であることに気づかれました。



『あいあいまんま子ども食堂』にお邪魔しました。

あいあいまんま食堂さんは、高知市葛島にある東部健康福祉センター2Fで開催されています。広いキッチンでボランティアさんが慣れた手つきで次々と調理されてお弁当につめていきます。

ボランティアさんは常時10名ぐらいおられるそうで、最初は片付けもセンターを借りている時間ギリギリまでかかっていましたが、今はみなさん慣れてきて時間に余裕ができています。なによりボランティアさんが楽しそうに調理されているのが印象的でした。

お弁当に加え、カレーも毎回作られていて、盛りだくさんのメニューとなっていますが、みなさん次々にカレーをおかわりされていました。調理室と廊下を挟んだ部屋で、食べていくこともできるようになっています。

コロナ禍なので、わいわいおしゃべりをしながら、というわけにはいきませんが、どの方も楽しそうな笑顔で食べられていました。



高知ひきこもりピアサポートセンター施設長の坂本さんにお話を伺いました。



大膳町にあるピアサポートセンターは、北側は大膳町公園、南側は江ノ口川が流れ、春は窓越しに桜が見える絶好のロケーションの場所にあります。

坂本さんの長年支援をされてきた経験で、支援する側や支援される側のノウハウなどを細かく丁寧にお話していただきました。ピアサポートセンターさんでは、一方的な支援の押し付けをしない、相談者に寄り添った伴走型支援を行っているそうです。

わたしたちも、支援の押し付けをせず、各支援団体さんの思いに寄り添った支援をしていかないと、あらためて気づかされました。

ろうふくエール基金に申請

「こうち食支援ネット」設立に20万円助成金決定

中央労福協が、地方労福協が軸となり労働組合・協同組合・市民団体等とともに、コロナ禍で苦しむ人たちに対する生活・就労支援活動を地域で促進することを後押しする目的で設立されたろうふくエール基金に、高知県労福協が「こうち食支援ネット」WEB作成費用の一部助成を申請した結果、20万円の助成が決定しました。



pantくん

『かみっこ』

フードパントリー

ライスくん

始めます!!

7/17[±] 11:00 ~ 14:00

- 食材のお渡し
- 防災備蓄食材を使った味付けご飯



7/31[±] 11:00 ~ 14:00

- ◆ 子ども食堂ブース
防災備蓄食材を使った味付けご飯
 - ◆ フードパントリーブース
食材のお渡し・レシピ付き
(お野菜・タピオカ・他)
 - ◆ 渋谷食品(株)
スイートポテト
 - ◆ ふれあいブース
木工あそび(木のおもちゃ等)
- 上記内容を予定しております

フードパントリーとは

食材支援が必要な時に、無料で受け取れる場所です。



香美教育会館

(土佐山田町宝町2丁目15-6)

※香美市には教育会館が2つあるので間違えなく!

※新型コロナウイルス感染予防対策として、当日はマスク着用と手等への消毒にご協力をお願いします。また、持ち帰り用の袋は、ご持参ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になる場合もあります。中止の場合は、「こうち食支援ネット」のWEBサイトおよびInstagramに開催日前日までにお知らせします。

勤労者の森事業

イベント企画：勤労者の森実行委員会
実行委員長 梶原 浩二
申込先：(有)嶺北観光自動車

リベンジ! 自然王国「白滝の里」 どんぐりの森ミニトレッキングのご案内

日ごろは、労福協運動へのご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、2021年度勤労者の森事業では、昨年度予定しておりました、大川村の自然王国「白滝の里」ミニトレッキングが中止となり、楽しみにしていた参加者の方々には、大変申し訳ございませんでした。今年度も、リベンジ!の思いで、大川村の自然王国「白滝の里」ミニトレッキングを開催する予定です。

午前中は、ミニトレッキングに参加しながら、白滝鉱山跡地や大川村の歴史を学びます。昼食は、大川村『謝肉祭』の美味しいタレを片手に大川村の大自然で育った大川黒牛やはちきん地鶏のバーベQをご用意しております。(バーベQは予定です。お弁当になることもあります。)

ぜひ、多くの組合員・ご家族・ご友人をお誘いいただき、ご参加くださいますよう宜しくお願いいたします。

なお、新型コロナウイルスの影響で、なかなか先の見通しが立たない状況となっております。現時点では、勤労者の森事業を開催する予定ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、イベントを中止することもあります。ご参加いただきます方々には、ご了承くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

開催予定日▶11月6日(土)

- 申込先 (有)嶺北観光自動車
- 参加費 2,000円(小学生以下1,500円)
※参加費は、当日徴収します。

募集期間 9月1日[水]～10月29日[金]

- 申込書は、高知県労福協ホームページからダウンロードできます。
※メール・ファックス・お電話での受付は出来ません。

行程

- 7:30 高知市 出発
★ミニトレッキング
(森林学習)
- 12:00 昼食もしくはお弁当
★バーベQ
- 17:30 高知市 帰着



勤労者の森実行委員会は、(一社)高知県労働者福祉協議会が企画する「森林に親しみ学び、自然の豊かさを体感する」事業の一つです。これらの事業は、観光ツアーではなく、楽しみながら森林に親しみ、その魅力や不思議さ・大切さを学びながら人と交流する場を持つイベントとして実施しております。

